

1 日時 令和2年1月21日(火)14時00分～15時20分

2 場所 佐賀県在宅生活サポートセンター 研修室A室

3 出席者 24名(副会長1名、幹事20名、事務局職員3名)

4 議事

- (1) 次回講演会のテーマについて【決議事項】
- (2) 本年度事業の進捗について【報告事項】
- (3) 来年度事業の方向性について【協議事項】

5 議事録

- (1) 次回講演会のテーマについて【決議事項】
 - ・ テーマはAIとAR、VR、MRとし、50分の2講演を行う。
 - ・ 講演者には、次の候補が挙がった。
 - (AI) 富士通株式会社のシニアエバンジェリスト 及川光弘氏、木村情報技術株式会社の代表取締役 木村隆夫氏
 - (AR、VR、MR) 株式会社とっぺん、株式会社ウェアサーブ、佐賀大学内の次世代コンテンツ開発拠点 redeco(リデコ)
 - ・ 講演候補者の中からスケジュールを調整して、第4回幹事会にて、講師を決定する。
- (2) 本年度事業の進捗について【報告事項】
 - ・ ネットの安全・安心けいはつコンクール表彰式について、令和2年2月23日(日)アバンセホールにて行うのでよろしければおこしください。(浴本幹事)
- (3) 来年度事業の方向性について【協議事項】
 - ・ ICT利活用促進調査研究以外の事業については、今年度と同様の方向性で実施する。
 - ・ ICT利活用促進調査研究は、公募をかけて委託する形をとるかを第4回幹事会にて決定する。委託することが決定した場合に来年度夏に調査が開始できるように第4回幹事会で公募要項案を示す。

(意見)

- ・ 公募にして、委託することで公募先の選定に対して透明性が確保できる。
- ・ 公募委託は、先々募集が来なくなる懸念がある。
- ・ 公募委託を行うことについてのメリット・デメリットについて各幹事が第4回幹事会前に考えてくる。
- ・ ICT利活用促進調査研究は幹事会直轄事業の委託として、ICT利活用促進団体支援事業と線引きをしておかなければ予算執行に至らない懸念がある。